

平成17年度

七尾市文化産業賞 受賞者

「七尾市文化産業賞」は、11月3日に本市の文化産業の振興・発展に関して特に功績の顕著な個人、団体に贈られ、その功績等をたたえて広く知らせるものです。

受賞者は、町会連合会、公民館、その他関係団体からの推薦を受けたものの中から、文化産業賞受賞者選考委員会によって選考されます。

本年度は3名の方が受賞されました。

文化産業賞選考委員会

市長が委嘱する委員（市内の公共的団体等の代表者、文化及び産業に関し高い識見を有する者、市議会議員）、10人以内で組織されます。

氏は、昭和46年から5年間、袖ヶ江公民館長として「協議と調和」をモットーにジュニアサマースクール開設等、子どもの校外学習活動と子供会育成活動に尽力されました。昭和48年3月に発足された七尾海洋少年団の運営においては、その熱意により県下最大に発展させ、海事思想の普及に大きく寄与されました。また、昭和48年から海洋少年団日本海中部地区連盟理事、副会長、会長および海洋少年団石川連盟の副会長、会長を歴任、内灘、羽咋における新海洋少年団結成に協力されるなど、連盟の適切な事業の推進に、寄与され続けています。

昭和51年から約8年間、七尾市社会教育委員に就任、卓越した見識と実行力は、親善都市丸亀市との少年団体交流の実現、ちびっこ広場、洋上セミナー実施等を推進されました。これら、氏の熱心な努力の積み重ねによる功績は、県内屈指の社会教育活動と評価されています。さらに、石川県社会教育委員協議会理事、副会長を歴任、昭和58年4月より現在にいたるまで、石川県社会教育協会理事、参与として社会教育の充実、振興に努められています。その一方、七尾商工会議所議員として環境問題委員長、地域開発委員長の歴任し、道路網整備、電源立地の推進など地域の諸問題解決に向け尽力され、停滞していた地域経済浮上の役割を担うなど地場産業や地域社会における功績も誠に大きいものがあります。

こうした社会教育活動および地域経済活動の発展、振興につくされた氏のご功績は、誠に顕著であり、高く評価されるものです。



はやし 林 秀一氏 (82歳)

南ヶ丘町

社会教育活動および地域経済活動の発展、振興につくされる。